

「鹿児島島の輝く」

未来のために」

日本銀行 鹿児島支店長
上口 洋司氏

鹿児島島に着任して半年が経ち、少しずつですが当地の状況について手触り感を感じられるようになってきました。そうした中で、皆様からお伺いする機会が増えてきている話題が、少子高齢化の進展と都市部への人口集中の問題です。

この問題は、当地に様々な側面で課題をもたらしていますが、経済面では、典型的には「先行きの地元市場の縮小懸念」と、「人手不足問題の深刻化」というかたちで現れているように窺えます。

これらの課題を克服していく方向性としては、「先行きの地元市場の縮小懸念」に関しては、マクロ的に捉えると、やはり海外を含めて、県外需要を取り込んでいくことを目指すことになると思われれます。

これには、①安全安心で品質の高い当地の農水産物や加工食品、さらには伝統の技から生み出される優れた工芸品などの需要を喚起するという方向性に加えて、②雄大な自然や数多の名湯、豊かな食文化などの魅力に魅かれて当地を訪れる観光客の需要をうまく取り込むという方向性についても磨きをかけていく必要があると思われれます。そして、いずれの方向性においても、素晴らしい素材を有する当地の潜在成長性は非常に高いと感じます。

ただ、時として、当地の方々は商品の品質を突き詰めて追求されている一方で、リーズナブルな価格でタイムリーに届けるといったロジスティックスの面や、品質に見合う対価を頂くためのブランド戦略の面などでは、改善の余

地が残されているように窺えます。したがって、引き続きこうした面では官民一体となって取り組みを進めていくことが重要だと思います。

「人手不足問題の深刻化」に関しては、当地の方々には、女性やシニア層の活用やU-Jターンの推進などを積極的に行ってまいります。省人化投資などには慎重な先が少なくありません。また先行きの需要の先細り懸念や後継者難の問題などの構造問題を意識しておられるためです。ただ、この問題は少なくとも短期的には不可逆的であり、時の経過につれて問題の深刻さが増していきます。こうした中、一部ではありますが、当地においても、設備投資や効率化策の実施などにより、従業員の処遇の改善と企業の持続的な収益確保の両立を目指す動きがみられます。また、働きやすい職場環境の整備をあわせて進める先もみられます。そして、こうした企業が現れる結果、対応が後手に回った企業にはさらに人が集まりにくくなるといった構図が強まっているように窺えます。

皆様の中にも同様の課題に直面しておられる先は少なくないと思います。ここで対応の鍵になり得るのが長足の進歩がみられるIT技術ではないかと思えます。近年では、様々な分野でIT技術を活用することで「足飛び」に世界の最先端に躍り出る動きがみられています。もちろん容易な道ではありませんが、皆様の英知を結集することで、こうした課題を乗り越えていかれると確信しております。

そして、皆様方の果敢な挑戦の先に輝く未来が訪れることを祈念しております。



日本銀行 鹿児島支店長
上口 洋司氏

出身地	山口県
平成 5年 3月	慶應義塾大学経済学部卒業
5年 4月	日本銀行入行
17年 7月	企画局企画役
19年 7月	総務人事局企画役
21年 7月	金融市場局企画役
23年 9月	企画局企画役
25年 4月	企画局企画調整課長
27年 6月	金融機構局金融第1課長
30年 6月	鹿児島支店長